

# 近代日本の危機

一度目が明治維新、二度目が第二次世界大戦の敗戦、第三が今の激変期です。利潤動機でない変革や、技術革新以前に、国家も個人も将来の姿が全く見えてこない状況がある。

◇◇◇

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

## 事務所便り

2010年5月24日(月) No115

地域から明るい未来を作ろう

欧米近代主義がモンスタライズして金融資本主義が世界に蔓延し、実体経済が疲弊して金融博打が先進諸国を席巻した。リーマンショックを契機に金融資本主義は破綻した。明治以来の官僚主導体制が腐敗して国家はガタガタになっただけか、彼らはアメリカの走狗と化している今、一旦は国家主権を国民主権に移して国家そのものを立て替えるという考え方が出てくるのは道理である。その上、権力官僚が国家ヤクザ化して無法状態を現出している今、その無血革命をしなければならぬ状況にある。

―泉州の泉

現代人は考えすぎ、行動にブレーキがかかる。動物は考えない。ゆえに迷わず、こだわらず、とらわれない。動物は、昨日はよかった、明日はとかの考えはない。今と、ここだけしかない。考えるだけでは、なにも解決しない。考えすぎて行動

### 思考が直感を奪う

しない、何も解決しない。不安や迷いは時が作るものです。昨日と今日と明日をつないで見るので不安になる。希望を持つことは大切ですが、しかし、今を捨石にしてどのような明日が来るのでしょうか。「今」と「ここ」しかないのです。「今を生きることは、明日を巻き込み引き寄せることだ」とドラッ

カーもいつている。思考を停止して、今ここに集中することです。発見は、ひらめきの中にあります。小学校で「雪が解けたら何になる」の有名な話がある。ほとんどの子供達は「水になる」と答えましたが、しかし一人だけ「春になる」と答えた。先生はその答えに×をつけたお話です。理論と知識の教育現場。動物的直感が喪失した？

今の時代は、変化を自らで作り出す姿勢とスピードが求められています。過去の成功体験は時代の変化の中で全く通用しないと見るべきか。淘汰の時代に入ったのか？。現代の競争社会は生き地獄です。格差が広がり益々人は病み、社会が停滞する。

## 時代の変化

変化はどんなチャンス(メリット)なのか？どんなピンチ(リスク)なのか、考えても、殆ど誰も良く分からぬものです。

べて本人にあるものです。無意識の「欲」が眼を曇らせます。腹七分の決断が明日に繋がるでしょう。「成功」は周囲からの助けであって、生かされた結果一つだと思ふ・・・。

ある会社の会議に参加する機会がありました。再度の掘り起こし、これはこれまでのやり方を見直す、組織の意識改革がポイントの一つだと思ふ・・・。